

総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会  
次世代電力・ガス事業基盤構築小委員会  
電力システム改革の検証を踏まえた制度設計WGの設置について

- 東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故を契機として、広域系統運用の拡大、小売電気事業及び発電事業の全面自由化、法的分離の方式による送配電部門の中立性の一層の確保等の電力システム改革が実施され、様々な取組が進められてきた。
- 今般、電力システム改革に関する改革方針の決定から10年が経過する中、改正電気事業法附則の検証規定に基づいて、電力システム改革の検証を行い、本年3月末にとりまとめを行った。
- 検証とりまとめにおいては、安定供給の確保、電気料金の最大限の抑制、需要家の選択肢や事業者の事業機会の拡大という電力システム改革の3つの目的に照らして、それぞれ一定の効果があったと評価できる一方で、供給力の不足や量・価格両面での安定供給確保といった課題も整理された。また、電力システム改革後の経済社会環境の変化を踏まえ、DXやGXに対応して脱炭素電力インフラの確保に取り組むことの必要性が指摘された。さらに、今後の電力システムが目指すべき方向性を、安定的な電力供給の実現、電力システムの脱炭素化、安定的な価格水準で電気を供給できる環境の整備の3点に再整理した。こうした議論は第七次エネルギー基本計画にも明記された。
- 上記を踏まえ、事業者や需要家の「選択」や「競争」を通じた創意工夫を最大限に生かしつつ、安定供給・脱炭素化・安定的な価格での供給を実現する次世代の電力システムを構築する観点から、電力システム改革の検証等を通じて明らかになった課題について、具体的な検討を速やかに進めるため、電力・ガス事業分科会次世代電力・ガス事業基盤構築小委員会の下に「電力システム改革の検証を踏まえた制度設計WG」を設置する。